

## 槇尾川ダム建設事業に関する地元住民と知事の意見交換会 結果報告メモ

【日 時】平成 22 年 1 月 29 日（金）午後 7 時～9 時

【場 所】大畑町民会館（和泉市仏並町）

【出席者】（大阪府）橋下徹大阪府知事

（地元）浸水想定区域内の住民

（オブザーバー）地元町会役員、地元府議会議員、和泉市都市デザイン部

（説明者）都市整備部

【議題】浸水想定区域にお住まいの方と知事の意見交換

### 【会議の概要】

#### 《知事の意見》

- 1/100 を大阪府全域に提供するのは不可能。しかし、平均の 1/10 は提供する。
- 1/10 であれば、ダム以外の治水対策でもダムと同様の安全度を確保することはできる。
- ダムは 100%安全ではなく、想定以上の雨に対しては被災する恐れがある。
- ダムのように‘貯める’よりも、河道で‘流す’方が安全だと考えている。
- 将来の世代に、ダムという大きなコンクリートの壁を受け継がせたくない。
- パラペット案を提案するので、住民としての意見を伺いたい。

#### 《住民の意見》

- パラペット案では高い壁でコミュニティーが壊れる。その結果、地域防災力が弱くなる。
- すでにダムの工事で山を削っている。大雨の際、流木が危険であり、流出も増える。流木や流出増に対して、パラペット案では対応できないのではないかと。
- ダムは土砂流出に対しても効果がある。
- 上流で整備を実施してしまったら、中下流が被害をうけるのではないかと。
- パラペット案は、内水氾濫に対して効果がないのではないかと。
- この地域は短時間豪雨が多い。貯めてもらうほうが安心。逃げる時間も確保できる。
- ダム事業に協力してきた。代替案（パラペット案）については、工事協力に応じられない。ダムをやって被害を受けても、地元は納得できる。河川改修ではそうはならない。
- パラペットは見栄えが悪い。蛍の川を将来世代に残せない。
- 山火事が非常に多いので、ダム湖が必要。
- 移転案は、ますます町の人口が減ってしまい、困る。
- 河床掘削案では、取水に支障が出るのではないかと。
- ダム以外の治水というが、ダム案のデメリットは何か？

#### 《知事の意見》

- パラペットが住民に望まれてないことは良くわかった。
- 河床掘削案について再度提案するので、みなさんのご意見を伺いたい。